



**ER** LIFE NEEDS BASKETBALL **CAMP**

バスケットボールを通じた  
次世代人材育成&防災学習プログラム

**ER** **CAMP**

# ER CAMPとは？



ER CAMPは東野 智弥氏が行っていた「クラッシャーキャンプ」を株式会社ERUTLUCが引き継いで立ち上がった、新しいキャンプです。

クラッシャーキャンプとは、「同じTシャツを着た選手が、チームや年代を越えて様々な人と、楽しく一生懸命バスケットをする」という目的で47都道府県のバスケット有志と協力して実施していました。

その想いのバトンを株式会社ERUTLUCが引き継ぐということから、CRUSH「ER」と「ER」UTLUCを取って『ER CAMP』となり、今後、事業を推進していきます。





# 東野 智弥 Tomoya Higashino

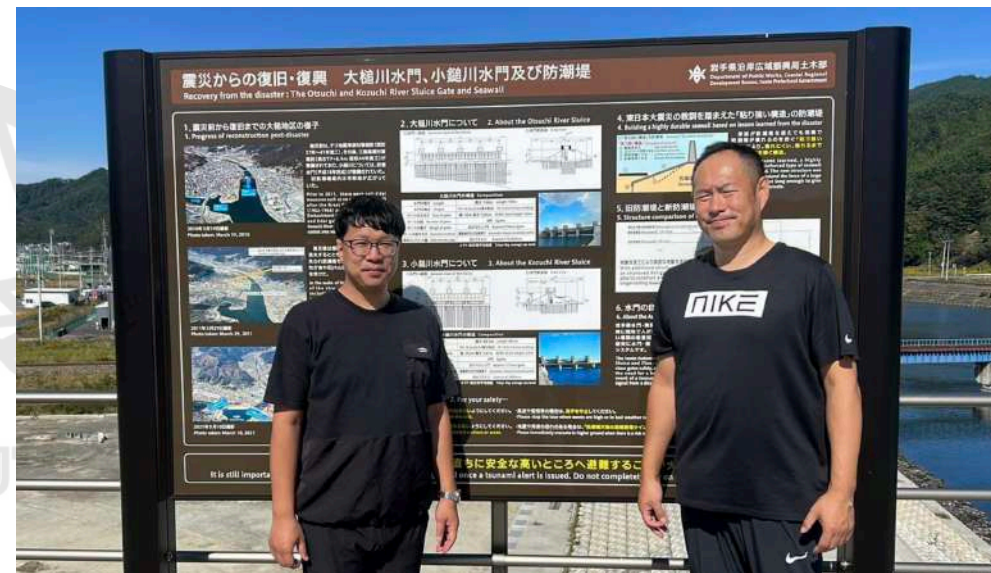
1970年生まれ、石川県加賀市出身。

2016年6月よりJBA技術委員会委員長。また現在、理工学研究科都市人間環境学  
選考沿岸まちづくり：有川太郎教授に師事し、「バスケットER：防災教育」を考  
える。

小学3年からバスケットボールを始め、錦城中学校で北信越大会で活躍、北陸高  
校ではインターハイ優勝を経験。早稲田大学、アンフィニ東京（現さいたまブ  
ロンコス）でプレーし、引退後はアメリカ・オレゴン州のルイス&クラーク大  
学にコーチ留学し、アシスタントコーチを務める。1996年よりCRキャンプを始  
め19年間行う。帰国後に国内各チームでコーチを歴任。主なものとして2002年  
にトヨタ自動車（現アルバルク東京）をアシスタントコーチとしてJBLスーパ  
ーリーグで優勝したほか、2015年には浜松・東三河フェニックス（現三遠ネオ  
フェニックス）を率いてbjリーグ優勝。2004～2006年、2010～2012年には男子  
日本代表コーチも務める。2012年夏には、ミルウォーキー・バックスの招待  
コーチとしてNBAサマーリーグに参加。早稲田大学大学院スポーツ科学研究科  
トップスポーツマネジメントを2012年3月修了。2019年11月よりFIBA・WABC  
エグゼクティブメンバーに就任。

2016年Bリーグ開幕より、理事、特任理事（現在）を歴任。

左：岩手県大槌町・四戸（しのへ）さん、右：東野



# 鈴木 良和 Yoshikazu Suzuki

1979年6月生まれ。茨城県つくば市でバスケットボールをはじめ、筑波西中学校から県立並木高校へ進学。その後は指導者としての道を志し、千葉大学のスポーツ科学課程に進学。千葉大学では同大学教授の日高哲朗氏に師事し、指導者としての礎を築く。

その後、WJBLシャンソン化粧品の練習補助や2003年に釜山で行われたアジア大会に男子日本代表のテクニカルスタッフなどを経験。時を同じくして、千葉大学大学院に進学し、そこでバスケットボールの家庭教師という事業を立ち上げる。その後、ドイツ、チェコ、スペイン、イタリアでジュニア期のコーチングについて学び、2007年に株式会社ERUTLUCを設立。現在、指導者約80名、社員13名、年間4000件以上の指導を行う事業を運営している。

各都道府県協会の指導者講習会も数多く担当しており、2016年からJBA技術委員会指導者養成部会員、ユース育成部会員として活動し、U12、U13ナショナルキャンプのヘッドコーチ、男子日本代表のサポートコーチとしても活動している。男子U22代表のスプリングキャンプのクリニックやWJBLチームのオフシーズンのワークアウトを担当するなど、バスケットボール界においてトップと育成年代をつなぐという役割を担う。現在は、女子日本代表アシスタントコーチに就任し、パリオリンピック出場および金メダル獲得を目指し、活動を行っている。





## 紹介動画





## ***LIFE NEEDS BASKETBALL***

「バスケットは人生を豊かにする！」という考えをもとに

**楽しく一生懸命** をモットーにキャンプを行い、

1日をいつもと違うバスケットを新たなコーチから、  
他チームの選手たちと共に、チャレンジするキャンプ。

キャンプが終わっても、残りの364日を

**変化・成長** を促す試みをする！！



## 目的

1. 日々移り行く世界、「スポーツ（バスケット）」の力で世界に通用する人材へのアプローチ（競技自体の非連続性x連続性の掛け合わせと、日常的なカルチャーとの親和性は、一人一人の人生や地域を活性化できる。）
2. 災害時における地域コミュニティのリーダーシップをとれる人材や復旧、復興時の地域の絆の形成に寄与する取り組みとしたい。

## 活動方針

1. ER CAMPは「防災とスポーツ」をテーマに、既存の枠組みを超えた取り組み。これにより、自主防災組織での課題を解決し、コミュニティのレジリエンスを高める。
2. 2026年からは、毎年47都道府県を2回ずつ訪れる活動を定期的 to 実施し、「楽しく、一生懸命」に取り組みを促進。「日常を世界基準にする」という取り組みもスタンダード変化の一助となるはずだ。

# 展望



ER CAMPは1回で100～120人ほど集めます。

年間で47都道府県で各2回ずつで行うと延べ約10,000人の子ども達を集めることができると考えます。

また、1人の選手に対して、父母、祖父祖母（父）/祖父祖母（母）に対しても取り組みを知ってもらうことを目指しています。

	開催箇所	子ども参加人数
2023年度	8カ所	778名
2024年度	13カ所	1291名
2025年度	17カ所予定	約2000名
2026年度	30カ所目標	約3000名見込み
2027年度	47カ所目標	約5000名見込み



## 【実施状況】

■ 黄色 = 2025年度実施

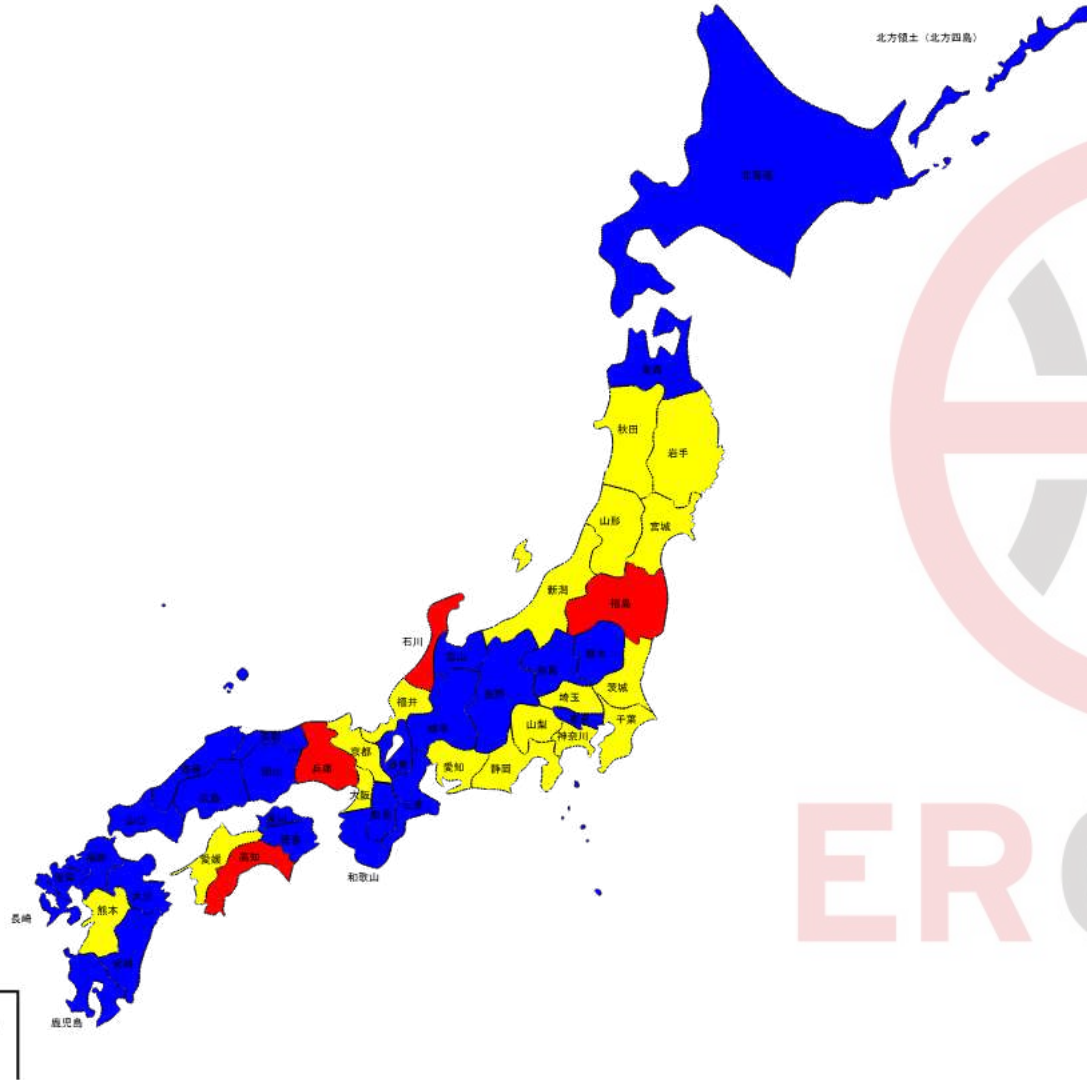
秋田/岩手/山形/宮城/新潟/茨城/千葉/埼玉/神奈川/  
山梨/静岡/愛知/福井/京都/大阪/愛媛/熊本

■ 赤色 = 実施実績あるが2025年度未実施

福島/石川/兵庫/高知

■ 青色 = 未実施

北海道/青森/栃木/群馬/東京/長野/岐阜/滋賀/三重/  
和歌山/岡山/広島/鳥取/島根/山口/福岡/佐賀/長崎/  
大分/宮崎/鹿児島/沖縄





## EGOZARU様と提携

2025年度よりEGZARU様でTシャツで作成

ロゴデザインは、ボールの中にERの文字が隠れているように作成

その文字のラインは避難経路を示すラインを  
連想させるようにし、防災教育への意味を込めている



午前

外部講師によるバスケクリニック



午後

技術を試すための3x3実践



お昼休憩

**ER CAMP**はこれだけではない！

詳細次頁



**ERCAMP**  
LIFE NEEDS BASKETBALL

**E**mergency **R**oom

防災を学ぶ場

# Emergency Room



午前

外部講師によるバスケクリニック



午後

技術を試すための3x3実践



お昼休憩

## 防災教育

バスケとの掛け合わせ機会を創出



## バスケット（スポーツ）と 防災教育を掛け合わせて 両方の価値を得る

### バスケットで学ぶこと

- たくさんボールに触れる
- 1on1の成功体験
- 選手の主体性を育む

### 防災教育で学ぶこと

- 避難訓練（高台を知る）
- 継続的な防災の意識
- コミュニティの構築

## ER CAMPで期待される効果

1. **連帯感の強化:** 部活・学校と保護者との一体感とコミュニティ絆
2. **情報共有:** イベントでの災害対応策の拡散（避難場所周知）
3. **明確な役割分担:** 災害時の迅速な行動のための事前割り当て
4. **地域リーダーの浮上:** イベントを通じたリーダーシップの形成
5. **住民ネットワーク:** 定期的な活動でのコミュニケーション増加
6. **施設の利用:** 災害時の避難場所や物資供給点としての活用



**ERCAMP**  
LIFE NEEDS BASKETBALL

キャンプ内容



## 外部講師によるクリニック

普段教わることができないトップコーチから、教わることで新たな発見や学びを提供。

楽しく一生懸命バスケットをモットーにキャンプを行い、色々な考え方に触れて、365日の1日をいつもと違うバスケットを指導者の方と一緒に経験し、残りの364日を変化・成長を促す。

エルトラックが優秀なコーチをコーディネートして毎年のコーチングを組み立てて実施。





## 防災（Emergency Room）講習会

地域ごとの問題点が違うため、各地域の市役所の防災課や消防に依頼し、防災または救命救急の講習を実施。

ER CAMPの開会式と閉会式にて防災への意識について、選手にアンケートを取る。

クリニックや3x3、そして防災講習を通して、防災への意識の高まりを確認する。





## 実戦で技術を試すための3x3

クリニックで教わったことを試す機会。

3x3は5on5に比べて、コートに立つ人数が少ないため、ボールに触れる機会（チャレンジできる機会）が多くなります。

また、個人の使えるスペースが広いいため 1on1 の成功体験が積みやすい。さらに、3x3ではコーチがいないことも大きな特徴で、選手の主体性を育むことにプラスになる。

バスケットがBasketballを教えてくれる。



# エルトラック講師一覧



- ・ **鈴木 良和** (株式会社ERUTLUC代表 女子日本代表アシスタントコーチ)
- ・ **水野 慎士** (株式会社ERUTLUC SSSランク指導員 男子U16日本代表サポートコーチ)
- ・ **関谷 悠介** (株式会社ERUTLUC SSSランク指導員 川崎ブレイブサンダース スキルコーチ)
- ・ **中田 和秀** (株式会社ERUTLUC SSSランク指導員 JBAキッズサポートマスター)
- ・ **加賀屋 圭子** (株式会社ERUTLUC SSSランク指導員 JBAキッズサポートマスター)
- ・ **大浦 宗博** (株式会社ERUTLUC SSSランク指導員 JBAナショナルDCサポートコーチ)

その他、今後の日本を代表する講師スタッフを順次追加予定



**ERCAMP**  
LIFE NEEDS BASKETBALL

スポンサープログラム

# スポンサープログラム | メニュー



			ブロンズスポンサー		シルバースポンサー			ゴールドスポンサー		プラチナ		
基本情報			¥50,000	¥100,000	¥300,000	¥500,000	¥700,000	¥1,000,000	¥2,000,000	¥3,000,000	¥5,000,000	
契約年数			1年	1年	1年	1年	1年	1年	1年	1年	1年	
権益内容	スポンサーロゴの掲出	Tシャツ	前面	-	-	-	-	-	-	-	-	
			背中	-	-	-	-	-	-	●※	-	●※
	SNS・メディア露出	公式WEBサイト	リンクバナー	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				会社名テキストのみ	会社名テキストのみ	会社ロゴ	会社ロゴ	会社ロゴ	会社ロゴ+企業説明	会社ロゴ+企業説明	会社ロゴ+企業説明	会社ロゴ+企業説明
		SNS (会社アカウント)	Instagram		●	●	●	●	●	●	●	●
			Facebook		●	●	●	●	●	●	●	●
			X		●	●	●	●	●	●	●	●
	YouTube				●	●	●	●	●	●	●	
	公式印刷物露出	印刷物	パンフレット			●	●	●	●	●	●	●
			チラシ						●	●	●	●
	会場露出	ロゴ配置	バナー								●	●
			ポスター						●	●	●	●
			会場装飾						●	●	●	●
		PR	ブース設置						●	●	●	●
企業物品配布								●	●	●	●	
企業動画放映								●	●	●	●	
		企業広報講演								●		

※Tシャツのプリントについては要相談となります。

# スポンサープログラム | スポンサーロゴの掲出(Tシャツ)



背面にモノクロでロゴをプリント



# スポンサープログラム | SNS・メディア露出(SNS)



フォロワー数  
3,371



フォロワー数  
3,581



フォロワー数  
4,147人

# スポンサープログラム | SNS・メディア露出(YouTube)



ERUTLUC /  
バスケットボールの家庭教師  
フォロワー数  
5,850人

動画内の最後にスポンサー様のロゴを掲載します。  
企業情報については、概要欄に記載します。

# スポンサープログラム | 公式印刷物露出(パンフレット)



## 6 シュートプロジェクト

バスケットボールの試合で勝利するという事は、「相手より1点でも多く取る」ことです。点を取るために、何よりも重要なのが「シュート」という技術です。重要な技術となるシュートを向上させるために、どのようにシュート練習を取り組むと良いかを紹介します。

### シュートがうまくなる7つの習慣



#### ① フォロースルーを止める

- 運動記憶をメモリーしやすくしよう
- 大事なのはフィンガーダウン

#### ② 左右ズレはフォームの是正

- ボールを押し出した方向に飛ぶ
- 方向が曲がっているということは、フォームに左右にボールをズラして押ししてしまう原因がある

#### ③ 前後ズレはボールの速さを感じて修正

- マジックタッチでボールの速さを感じやすくしよう
- 顔自体はボールを押し出す動作+重心移動とマジックタッチで上向き速度を作る

#### ④ 最高のアーチを使う

- アーチが高いメリット
- ディフェンスの影響を受けにくい
- リングの入射面積が広い

#### ⑤ スウィッシュで決める

- スタンダードの高さが技術の質の高さにつながる
- リングに当たっても平気なシューティングの選手は少しズレたらリングの外だが、スウィッシュを狙っている選手にとっては少しズレてもリングの中におさまる



#### ⑥ タックモーションで打つ

- リズムで運動を記憶する
- 打点の高さよりもモーションの速さの方が価値が高い

#### ⑦ 再現性と修正力で基礎の習熟を目指す

- 入ったシュートを繰り返す
- 連続で外さない
- 4本中3本インをスタンダードに

10 ER CAMP

日本発の“プレミアム”バスケットボールブランド“EGOZARU”が

2025年度から、ER CAMPのパートナーに加わりました。

ER CAMPのオリジナルTシャツのデザイン・制作を手掛けています。

EGOZARU (エゴザル)とは? <https://egozaru.jp/>

2015年に誕生した日本発のバスケットボールブランド、「JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE (Bリーグ)」をはじめ、多くのプロチームとオフィシャルサプライヤー契約を結び公式ユニフォームを供給。トップアスリートからアマチュアまで世界中のバスケットボールプレイヤーのパフォーマンスとライフスタイルを支えるため、独自性のある商品でブランドを拡大しています。



ER CAMPのロゴもEGOZARUがデザイン。ボールの中に隠れているERの文字は選層階級を示すラインを連想させ、防災教育の意味も込められています。

ER CAMP

ER CAMP 11

イメージ



# スポンサープログラム | 公式印刷物露出(チラシ)



## コンセプト

同じTシャツを着た選手が、チームや年代を超えて様々な人と、楽しく一生懸命バスケットをして、365日の1日を実えて、残りの364日をより良い日々にする事を目指します!

## スキルクリニック

株式会社ERUTLUCの代表の鈴木良和コーチが担当します! 普段教わらないコーチから、教わることで新たな発見や学びになると考えます!

## 3x3

クリニックで学んだことを試す機会を提供します!  
3x3はコート上の人数が少ないため、ボールに触れる機会が多く、チャレンジしやすいゲームです。普段のチームメイトとは違うメンバーでチームを編成します!

## インフォメーション



- 開催日** 2024年12月21日 (土)
- 時間** 9:00~16:30予定  
※午前: スキルクリニック/お昼前: 防災講習/午後: 3x3
- 場所** 浜松市立雄踏中学校
- 持ち物** バッッシュ、ボール、飲み物、リバーシブルorゼッケン
- 参加費** 3,000円 (税込) ※ERCAMPオリジナルTシャツプレゼント

## 協賛企業



社名は、子どものスポーツ文化の土壌を耕す、スポーツから教養・教育を考えていくという意味でCULTURE (カルチャー: 文化・教養という意味) という単語を逆読みしたものです。首都圏を中心にスクールを展開し、全国各地のDC事業や指導者講習会の講師を派遣をしています。



# スポンサープログラム | 公式印刷物露出(バナー)

スポンサー様のポップアップバナーを作成します。



イメージ



- 企業物品配布

受付にて配布または会場にブースを設営し配布できます。  
選手100~120名+保護者の方に配布が可能です。

- 企業動画放映

スポンサー様の紹介動画がありましたら開会式や休憩中にて放映します。

- 企業広報講演

15~30分ほどスポンサー様のサービスを参加者の皆様に講演いただけます。





**ER** LIFE NEEDS BASKETBALL **CAMP**

2025年度開催実績

# 開催実績①②



2025年4月

## 神奈川県鎌倉市

参加者 選手 | 109名 (小学4~6年生/中学1年生男女)  
指導者 | 8名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの加賀屋圭子によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 中央大学有川先生と鎌倉市役所の方による講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



2025年5月

## 秋田県大潟村

参加者 選手 | 79名 (小学4~6年生男女)  
指導者 | 6名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの板橋勇斗によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 秋田県防災士会の佐々木様による防災講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



# 開催実績③④



2025年6月

## 京都府京田辺市

参加者 選手 | 76名 (小学2~6年生/中学1~3年生男女)  
指導者 | 5名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの中田和秀によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 ERUTLUCの谷中風次による講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



2025年6月

## 宮城県気仙沼市

参加者 選手 | 108名 (小学4~6年生/中学,高校1~3年生男女)  
指導者 | 8名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの谷中風次によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 気仙沼市バスケットボール協会の佐藤克美様による防災講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



# 開催実績⑤⑥



2025年8月

## 山梨県甲府市

参加者 選手 | 162名 (小学4~6年生男女)  
指導者 | 4名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの関谷悠介によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 山梨県の防災課の方による防災講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



2025年8月

## 新潟県長岡市

参加者 選手 | 125名 (小学4~6年生/中学1~3年生男女)  
指導者 | 4名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの加賀屋圭子によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 中越市民防災安全士会の岸様による防災講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



# 開催実績⑦⑧



2025年9月

## 熊本県八代市

参加者 選手 | 106名 (小学4~6年生男女)  
指導者 | 4名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの加賀屋圭子によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 八代市の担当によるAED講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



2025年10月

## 岩手県奥州市/金ヶ崎町

参加者 選手 | 108名 (小学4~6年生/中学1~3年生男女)  
指導者 | 4名

午前 09:30-12:00 ERUTLUCの谷中風次によるクリニック

ランチ 12:15-12:45 気仙沼市バスケットボール協会の佐藤様による防災講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



# 開催実績⑨⑩



2025年11月

## 愛知県名古屋市

参加者 選手 | 84名 (小学4~6年生男女)  
指導者 | 5名

午前 09:15-11:45 ERUTLUCの水野慎士によるクリニック

ランチ 12:00-12:30 名古屋市水道局の方による防災講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



2025年12月

## 埼玉県入間郡三芳町

参加者 選手 | 108名 (小学5~6年生男女/中学1~3年生男女)  
指導者 | 5名

午前 09:15-11:45 ERUTLUCの関谷悠介/加賀屋圭子によるクリニック

ランチ 12:00-12:30 消防の方による救命救急講習

午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



# 開催実績⑪⑫



2026年1月

## 愛媛県伊予市

参加者 選手 | 65名 (小学1~6年生男女)  
指導者 | 5名

午前 09:15-11:45 ERUTLUCの板橋勇斗によるクリニック  
ランチ 12:00-12:30 愛媛大学名誉教授の方による防災講習  
午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



2026年1月

## 大阪府豊中市

参加者 選手 | 112名 (小学5~6年生男女)  
指導者 | 8名

午前 09:15-11:45 ERUTLUCの板橋勇斗によるクリニック  
ランチ 12:00-12:30 豊中市都市経営危機管理課の方による救命救急講習  
午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



# 開催実績⑬⑭



2026年2月

## 静岡県藤枝市

参加者 選手 | 104名 (小学3~6年生男女)  
指導者 | 8名

午前 09:15-11:45 ERUTLUCの中田和秀によるクリニック  
ランチ 12:00-12:30 常葉大学の木宮先生による防災講習  
午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



2026年2月

## 千葉県千葉市

参加者 選手 | 31名 (小学4~6年生男女)  
指導者 | 0名 千葉大学バスケット部4名サポート

午前 09:15-11:45 ERUTLUCの加賀屋圭子によるクリニック  
ランチ 12:00-12:30 千葉大学の学生による救命救急講習  
午後 13:30-16:00 3x3実施 | 8分の1Q



# ギャラリー



# ギャラリー



# お問い合わせ先



## ER CAMP事務局

担当 | 谷中 風次 (やなか ふうじ)

電話 | 080-4096-2445

メール | [euro\\_bba\\_league@basketballtutor.com](mailto:euro_bba_league@basketballtutor.com)





楽しく 一生懸命

